

偉人へのインタビューシリーズ I

～with 伊能忠敬 前編～

2年生の Ultimate 教材シリーズが一通り終わったので、今日から長文読解シリーズに入ります。ただただ長文問題を解いても面白くないので、先生が毎回過去の世界から一人のゲストをお呼びすることにしました。その人との対談を英語で読んで各問に答えましょう。

※難しい人は、日本語訳を付けているので、日本語訳と照らし合わせながら、分からない単語をチェックしながら、問題を解いてみてください。読むことが大切なので、無理に「訳なし、辞書なし」で読もうとしなくて大丈夫です。

第一回目の今日のゲストは「伊能忠敬さん」です！！では、さっそくインタビュー開始！！

Teacher: Today, we have Mr. Tadatoka Ino. Mr, thank you for coming today..

Mr. Ino: It's a pleasure to meet you.

Teacher: So, first of all, let me introduce you to your career. He was born on February 11, 1745, and is what we call "an Edo-ko". He was a merchant, but at the age of 55, he wanted to make a map to survey all over Japan. After 17 years, he completed the famous "①Dainippon Coastal Cartographic Map". Unfortunately, he passed away before this "map" was completed. Now, I too have a lot to learn about Ino-sensei's way of life, but first, can you tell us about yourself as a "merchant"?

Mr. Ino: Yes, thank you very much. I've been interested in studying since I was a little boy, and I knew I wanted to be a scholar in the future. However, the house was poor and my mother died when I was six years old. My father had come here as my mother's son-in-law, so my father also moved back into his own family home when my mother died. I wanted to continue my studies in my hometown, so I continued to stay there while helping out at home. At the age of 17, I began to **live in the Ino family** who ran a **sake brewery**. But the business was very painful and it was a **firebrand** when he became the head of the business. ①Nevertheless, through **frugality** and effort, we managed to rebuild the business.

Teacher: During the famine of Tenmei, you pleaded for **the exemption of tribute** and gave all of your private funds to the villagers in rice and money, right? ②I'm impressed with your willingness to give everything you' re worked so hard for and gained for others.

Mr. Ino: After I became the head of the business and rebuilt it, I always told my **disciples** to **put money on the back burner** and do what makes the customers happy. I believe that as long as we are allowed to live with supports of others, we should be able to help others at any times.

Teacher: That's great.

単語

live in the Ino family : 伊能家に婿入りする sake brewery : 酒造 firebrand : 火の車

frugality : 儉約 exemption of tribute : 年貢の免除 disciple : 弟子

put money on the back burner : 儲けを後回しにする

問1 : 傍線部①は「大日本沿海輿地全図 (だいにっぽんえんかいよちぜんず)」という伊能忠敬が完成に貢献した初の日本全国地図である。この地図が完成するまでの年数を数字で答えなさい。

問2 : 伊能忠敬は貧しい幼少期を送っている。そのことが分かる2文を抜き出し、日本語に直しなさい。

問3 : 二重下線部①, ②を日本語に直しなさい。

問4 : 伊能忠敬は、儲けについてどのようなことを言っていますか。以下の () に当てはまる日本語をいれなさい。

人間は、儲けは後回しにし、お客さんが (1) ことをやるべきだ。人間は他人に生かされている以上、他人を (2) と思う。

次回、後編につづく。商人だった伊能忠敬はどのようにして地図を作るに至ったのか。

「訳」

先生：本日は、伊能忠敬先生をお招きしています。先生、どうぞよろしく申し上げます。

伊能先生：よろしく申し上げます。

先生：それでは、まず伊能先生の経歴をご紹介します。先生は、1745年2月11日生まれの江戸っ子です。商人をやられていましたが、55歳に地図を作りたいと思い、日本全国を測量。17年の歳月を経て、かの有名な「[大日本沿海輿地全図](#)」が完成されました。残念ながら先生はこの「地図」の完成を待たずして亡くなりました。さて私も、伊能先生の生き様について学ぶところが多いのですが、まずは「商人」としての先生について教えていただけますか？

伊能先生：はい、ありがとうございます。私は小さい時から勉学に興味があり、将来は学者になりたいと思っていました。しかしながら家が貧しく、私が6歳の時に母が亡くなりました。父は母の婿養子として来ていたので、父も母が亡くなると同時に自分の実家に戻りました。私は地元で勉学を続けたかったので家の手伝いをしながら勉学をつづけました。しかしやはり経済的に厳しく働かざる終えなくなったため17歳で酒造を営む伊能家に婿入りしています。しかし事業はとても苦しく、当主となったときには火の車でした。それでも儉約と努力で何とか経営を立て直すことができました。

先生：先生は天明の飢饉のときに年貢の免除を嘆願した上、私財をはたいて全て村人たちに米やお金をさしあげてますよね。自分で頑張っ得たものを全て人の為にささげるというその姿勢に感銘です。

伊能先生：当主になって経営を立て直した後、私は弟子たちに常に「儲けは後回しにし、お客さんが喜んでくれることをやりなさい」と言っていました。人間は他人に生かされている以上、他人を助ける存在でなければならないと思います。

先生：すばらしいですね。